

継続

土砂災害防止マネージメント(豪雨、地震、火山噴火起因) Disaster Management for Landslide and Sediment – Related Disaster (Triggered by Rainfall, Earthquake and Volcanic Activity)		
対象国の条件：		
研修コース番号 :J1804383		案件番号 :1884481
主分野課題：水資源・防災/土砂災害対策		
副分野課題：		
使用言語：英語		
案件概要		
技術系行政官、行政機関研究者を対象に、効果的な土砂災害対策（構造物対策及び非構造物対策）を講じるため、講義、演習及び現場視察を通じて、各現象のメカニズム、調査・観測・分析手法、対策計画立案手法、計画を推進するための組織体制、法制度、予算、施工・維持管理等を理解・習得する。		
目標／成果		対象組織／人材
【案件目標】 豪雨、地震及び火山噴火に起因する土砂災害のメカニズムや土砂災害対策計画を推進するための組織体制、法制度、予算、施工・維持管理などを理解し、効果的な構造物及び非構造物対策を講じるための調査・観測・分析手法、対策計画立案手法等を習得する。 【成果】 (1) 豪雨、地震及び火山噴火に起因する土砂災害の現象を理解し、発生プロセスを説明できる。 (2) 豪雨、地震あるいは火山噴火に起因する土砂災害の調査、観測及び分析・評価手法を説明できる。 (3) 豪雨、地震あるいは火山噴火に起因する土砂災害対策のための防災・減災計画（構造物対策及び非構造物対策）を説明できる。		【対象組織】 おもに土砂災害対策に関係する行政機関（国、地方） 【対象人材】 防災行政、防災事業に携わる技術系行政官、行政機関研究者で、土砂災害、関連分野で実務経験３年以上を有する者。かつ、関連分野（水理学やエクセル）の基礎知識を有す者
内 容		2018/10/10～2018/12/1
(1) 防災全般 ① 講義 ー防災行政ー土砂災害防止関係事業の計画・実施、ー防災教育 (2) 土砂災害対策 ① 講義：ー土砂災害の発生メカニズムー土砂災害の実態と対策、ー土砂災害発生予測手法、ー火山周辺で発生する土砂災害対策、ー土砂災害危険区域の設定及びハザードマップの作成と利活用、ー土砂災害の警戒避難基準雨量の設定と情報伝達、 ② 現地調査：ー各種土砂災害対策の現場視察 (3) 演習：土砂災害対策の中でも必要性の高いテーマに関する講義と演習により、知識を深めるとともに技術力を向上させ、実務に反映できるようにする。講義・演習は必要に応じ、グループ分けして実施する。想定される演習のテーマは以下のとおり。 ー土砂災害発生後の現地調査、ー土砂災害対策計画の策定、ー警戒避難基準雨量設定、ー土砂災害危険区域設定と土地利用計画、ー噴火シナリオとハザードマップ (4) 最終報告書の作成・発表：研修で学んだことの取纏めと自国の土砂災害対策へのフィードバック等について、最終報告書を作成するとともに発表会を行う。		本邦研修期間
		担当課題部
		JICA東京（経済環境）
		所管国内機関
		関係省庁
		国土交通省
		実施年度
		2017～2019
主要協力機関	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター	
特記事項 及び ホームページ	以前の案件名称：火山学・総合土砂対策	